

21世紀の鉄道を考える議員フォーラム

第19回総会を開催



挨拶するJR連全国会議員懇談会榛葉賀津也会長

11月16日、都内において開催され、貨物鉄産労からは2名が参加しました。

「21世紀の鉄道を考える議員フォーラム」は衆参合わせて55名の国会議員が加入しており、JR産業が持続的に発展していく為にも、政策実現や組織課題解決に向けた政治の取り組みが重要となります。本総会では、「経営に係る課題」「地域公共交通に係る課題」「物流2024問題に係る課題」「JR産業における建設業2024問題」「カーボンニュートラル実現に向けた課題」「バス産業活性化に向けた課題」「2024年度税制改正要望」等の当面する政策課題と、JR労働界の革マル派浸透問題について認識を共有し、課題解決に向け取り組んでいくことを確認しました。

議員からは、組織問題、大雨大雪などの自然災害への対策、働き方改革、新型車両開発、2024問題においてJR貨物が抱えている課題等、活発な討議を行いました。

貨物鉄産労は、政策・組織課題解決に向け、引き続き、議員フォーラム・JR連合と連携し取り組みを展開していきます。

なお、議員フォーラムの前段で、JR連合地方議員団連絡会第29回総会を開催しました。

